

Vol.26
2016 WINTER

INSIDE

[繋ぐ]

先 **ど** **る** Special Issue:

純白に宿る光と影の美 「White Model」

出 **会** **う** グローバル・マーケットで躍動する
キー・プレイヤーの「営業の基本」

広 **げ** **る** 冬のイベントに彩りをそえる
「シーズナル・ペーパーギフト」

純白に宿る光と影の美

「White Model」

数えきれないほどの精巧なパーツで組み上げられた、純白の造形。

作品の材料として使用されているのは、白い「ケント紙」のみ。

加工性に優れた紙の特性を生かし、緻密な作業の積み重ねによって生み出される
潔いほどシンプルな美しさが、いま世界のアートシーンの話題をさらっています。

ペーパーアーティスト・伊藤航^{わたる}さんが創り出す、陰影の世界。

ディテールにこだわり抜いた、その作品の美しさに迫ります。

先どる P01

純白に宿る光と影の美
「White Model」

辿る P06

神さまからのメッセージ、
「おみくじ」の正しい作法とは？

伝える P07

自らの美学を生涯貫いた
昭和を代表する2人の偉人【後編】

出会う P09

グローバル・マーケットで躍動する
キー・プレイヤーの「営業の基本」

広げる P11

冬のイベントに彩りをそえる
「シーズナル・ペーパーギフト」

深める P13

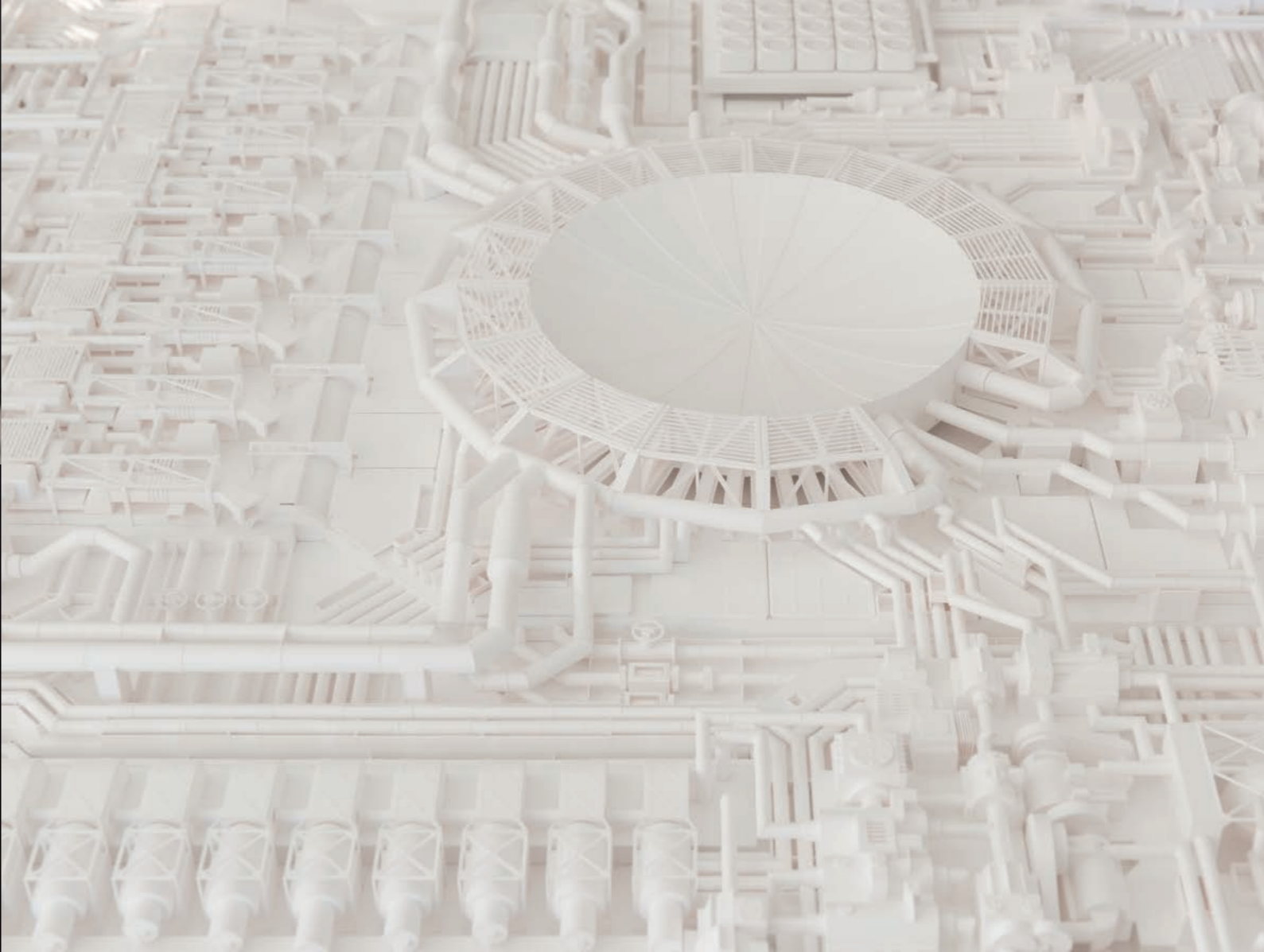
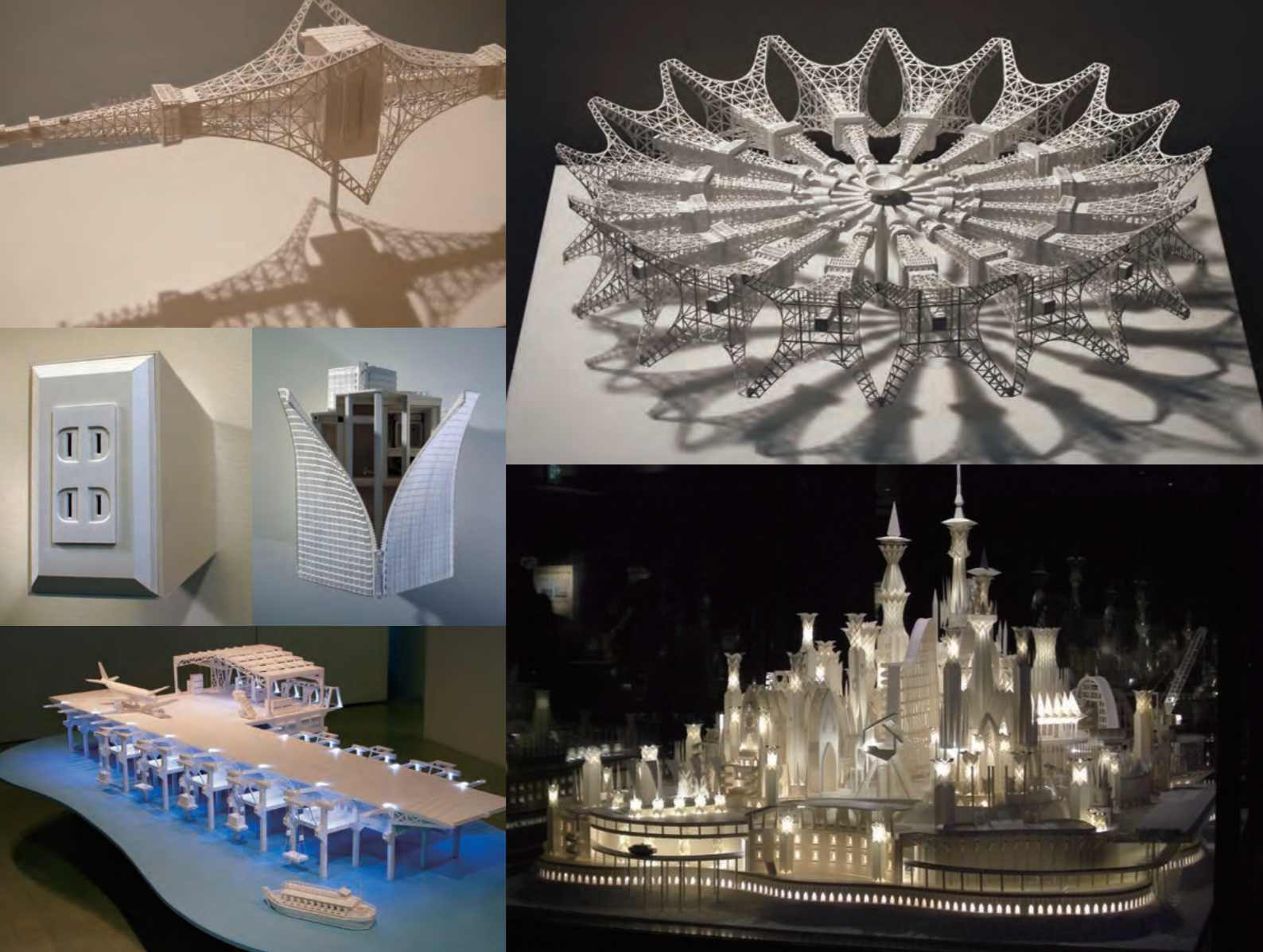
KPPの最新ニュースを
キャッチアップ

訪ねる P15

紙の魅力を手感できる
「ペーパーイベント・カレンダー」

作る 付録

ウォールアートとしても活躍
「冬のグリーティング・カード」



4	2	1
6	5	
7	3	

- ❶「paradox」(2015)
- ❷「Electric Wave II」(2013)
- ❸「海の上のお城」(2007)
- ❹「Electric Wave I」(2013)
- ❺「衣替え」(2010)
- ❻「のぞくと」(2010)
- ❼「Airport of the imagination」(2011)

シンプルな白い紙だからこそ 際立つ、形状の美しさ。



ペーパーアーティスト
伊藤 航さん WATARU ITO

1983年生まれ、埼玉県出身。2011年、東京藝術大学美術学部工芸科漆芸専攻卒業。在学中、4年の歳月をかけた処女作となる「海の上のお城」は「世界の最も美しいペーパークラフトの一つ」として、国内外から高い評価を受ける。以後、身近な日用品や建造物、工業製品をモチーフに、緻密で精巧な立体作品を発表し続ける。2009年に「平山郁夫賞」、2011年に「三菱地所賞」「日本ペイント賞」を受賞。今年にはニューヨークで開催されるアートフェア「Art on Paper」にも出展予定(2016/3.3~3.6 @Pier36) <http://paper-project.jimdo.com/>

折る、曲げる、切る、貼る、組む、編む……。いくつもの加工法を使い、紙からいくつものパーツを切り出し、貼り合わせることで作り上げられるペーパーアート(ペーパークラフト)。特別な道具を必要としないこと、材料となる紙が比較的安価なこともあって、子どもや主婦など一般の方からプロの造形作家まで、世界中の多くの人々に親しまれています。

そうしたペーパーアートのなかでも、とくに注目を集めているのがペーパーアーティスト、伊藤航さんの作品。工場の複雑に入り組んだ配管から大きな橋梁、飛行機の滑走路、さらには東京タワーまで、精密機械を思わせる立体作品の数々。純白のケント紙のみを使って創り出される精緻な造形世界は、展示する場所を問わず、観る人すべての目を釘づけにします。彼の作品に秘められた創作哲学と作品の魅力を探るため、アトリエを訪ねました。

「この作品は、制作をはじめてから5カ月目ですね。一軒家を改築したアトリエに、数種類のカッターやハサミ、定規、ピンセット、木工用ボンドが整然と置かれた作業机と、その隣に据えられた約90cm四方の作品。目前に迫った展示会に向けて制作しているという作品は、1日平均6時間の作業を約半年間続けることで、ようやく完成を迎える予定なのだとか。真っ直ぐに整列された無数の配管や各種バルブ、通気設備など、大規模な工場の生産設備を思わせる新作は、まさに圧巻のリアリティです。「切り取った紙に定規を使って紙に丸みをつけたら、必要な配管の直径に合わせて筒状に。各パート同士がどのようにつくつかをイメージしながら作業を進めます」

と伊藤さん。細部まで緻密に作り込まれた作品は、見れば見るほど新しい発見があります。

伊藤さんは東京藝術大学在学中、工芸科で漆芸を学びつつ、紙を素材とした表現方法を追求してきました。「紙と漆器、一見共通点がないように思われるかもしれませんが、完成度を極限まで突き詰めていく点では同じだと思っています。漆器制作で学んだ、髪の毛一本以下の精度にこだわるものづくりを経験したことが、現在の作品づくりにも影響を与えていると思います」と伊藤さん。小さなところから慣れ親しんできた折り紙や工作の知識をベースに、日本を代表する芸術のひとつである漆芸の精緻な技術と哲学を学んだことが、細部の形状にこだわる作品につながっていったのです。

そんな伊藤さんが脚光を浴びるのは、大学在学中のこと。4年間の月日をかけて自宅の六畳間で制作したという処女作「海の上のお城」は、幅2.4m、高さ1mという壮大なスケール。洋城だけでなく、教会や学校、観覧車や電車など、ひとつの街全体を紙だけでつく上げた純白の作品として、海外からも高い評価を受けることとなります。「つくっていくうちに、あれがあったら楽しそうだな、と次第に拡張していった」という純白の大作は、東京アクアライン海ほたるパークエリアでの公共展示を終えたのち、現在はふなばしアンデルセン公園(千葉県)内にある子ども美術館にて常設展示されています。大学卒業後は、本格的に展示会への出展を開始。東京タワーを連ねたアート作品が大きくメディアで取り上げられたことで、精巧な技術を持つペーパーアーティストとして、世界のアートシーンにその名が知れわたることとなりました。

伊藤さんの作品の代名詞ともいえる「白」。たしかにカラフルで、いろいろな表情を持った紙がありますが、それだと紙そのものの領域を超えているような気がするんです。誰もが慣れた白い紙を使うことで、「紙でこんなものができるんだ」という表現の可能性を伝えたい」と伊藤さんは話します。また、「白い紙だからこそ、明暗の美しさを際立たせることができる。色をなくすことで、形状の美しさや面白さを引き出せるのかなと思っています」とのこと。美しい陰影を表すのに、もっともスタンダードでスティックな、ホワイトを用いることで、造形の魅力がより一層強調される。それが伊藤さんの作品に込められたフィロソフィーなのかもしれません。



今回のテーマ

おみくじ

神さまからのメッセージ、 「おみくじ」の正しい作法とは？

初詣で神社などに参拝して「まずは今年の運だめしー」とおみくじを引く。年初めの運勢占いを、毎年楽しみにしている人はたくさんいらっしゃると思います。でも、その意味や、引いた後どう扱ったらいいのかなど、じつは分かっていないこともあるのでは？というところで、今回のテーマは「おみくじ」です。

そもそも占いは、ものごとを始めるにあたって「まず神さまのお考えを仰ぎ、これに基づいてものごとを進めよう」という、信仰に根づいた文化。古くは太占(たうらひ)や亀卜(かめうらひ)や亀甲(かめこう)を用いた占いで、作柄や天候を占う粥占(かゆうらひ)神事などさまざまな手法で続けられてきました。おみくじも、こうした占いのひとつと言えるでしょう。個人の運勢や吉凶を占うおみくじですが、大吉・吉・中吉・小吉・末吉・凶といった吉凶判断や、金運や恋愛、旅行、待ち人、健康など、生活全般に関わる言葉が記されているだけでなく、和歌などが謳われているものもあります。種類もいろいろで、さまざまな神社・仏閣でユニークなものを見かけるようになってきました。

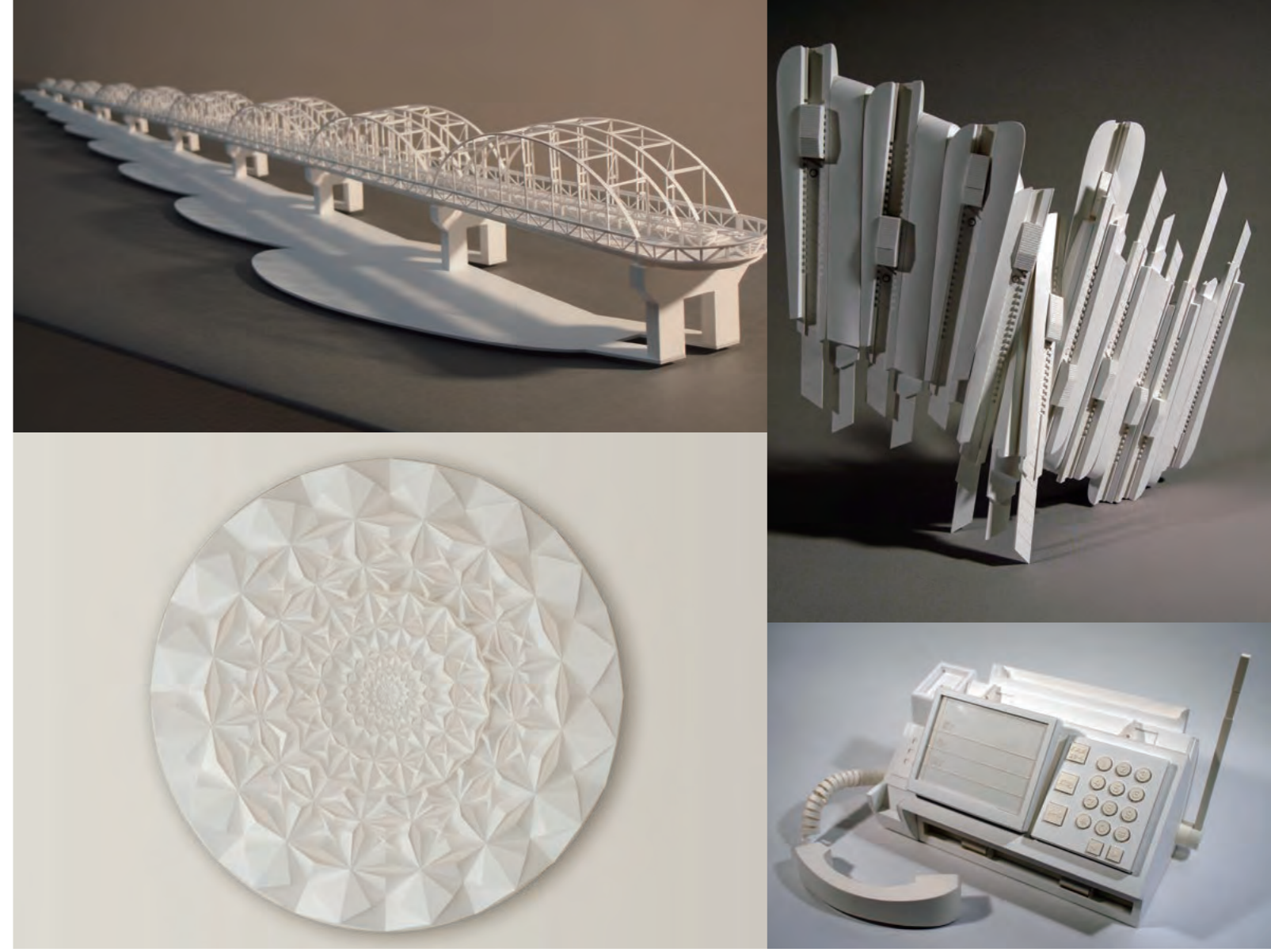
また、「おみくじが境内の木枝に結ばれている風景」をよく目にしますが、諸説あるものの、基本的には「持ち帰る」のが正解。木などに結ぶのは、受け入れ難い内容だったときだけのつねに身近に置いておみくじを読み返し日々の指針にする、というのが正しい活かし方です。「引いて結んで帰る」では、「今年の中吉」程度しか記憶に残らず、せっかくいたいたお言葉がもったいない。引いたときは「違うな」と思っても、あとで「当たったな」と思うこともあるかも。そこにある神さまからのメッセージを、暮らしに活かすことが大切なのです。それから、忘れてはいけないのは「おみくじの有効期限はその年1年」ということ。御札や御守を毎年替えてお焚き上げをするように、いつまでも持ち続けるのではなく、おみくじもきちんとお返ししましょう。



ユニークな「おみくじ」

住吉神社
(東京都中央区佃1-1-14)
www.sumiyoshijinja.or.jp/
お願いごとによって色分けされたカラフルなだるまみくじは全部で8種類。KPP本社にお越しの際は、佃島の氏神さまにぜひお立ち寄り。

布忍(ぬのせ)神社
(大阪府松原市北新町2-4-11)
<http://www.eonet.ne.jp/~nunose/>
現代美術アーティスト、イチハラヒロコ氏との共同制作で生まれた「恋みくじ」は、女性に大人気。シンプルなメッセージがココロに刺さり。ユニークなおみくじは、全36種類。



- | | |
|---|---|
| ⑩ | ⑧ |
| ⑪ | ⑨ |
- ①「連鎖」(2012)
 - ②「Facsimile」(2010)
 - ③「Loop」(2013)
 - ④万国筆シリーズ「Circle」(2015)

万国共通で美しいと感じてもらえる作品を 追究していきたい。

庄巻のリアリテイを生み出す精巧な作風であるにもかかわらず、伊藤さんの作品には図面がありません。製図ソフトを使わないのももちろん、エスキース(下絵)すら描かず、頭の中のイメージをもとに作品をつくり上げていくそうです。「私の場合は、日常生活の中で面白そうなモチーフを見つけたら少しずつつくり始めて、手を動かしながらイメージを固めていきます。自分のイメージをカタチにするまでの時間をなるべく早くしたいので、エスキースを描いて考える時間を省略できますし、図面を引いて道筋をつくってしまうと、逆にイメージが限定されてしまう部分もあるんです。つくっていく中でどんどんイメージが膨らんでいくので、それを大切にしたいと思っています」と伊藤さん。ひとつのパーツをつくり上げると、新たなイメージが広がる。その「手で考える」と言ってもいいスタイルのなかに、伊藤さんの真の凄さがあります。「だからこそ、自分で決めないと終わりがありません(笑)。それこそ展示会の搬入の前まで、手を加えていることが多いですね」と話します。

洋城やタワー、橋梁やコンクリートといった大規模な建造物から、電話機や掃除機など身近なものまで、伊藤さんの作品のモチーフは多岐に渡ります。近年では配管をつなぎ合わせた作品シリーズと同時に、幾何学模様をベースにした抽象的な作品にもチャレンジしているそうです。「海外からのオファーが増えていることもあって、日本の文化に対する知識がない方にも楽しんでもらえる作品をつくらうと思っています」とのこと。モノの造形を的確に捉える描写力、そして日本人特有の細やかさと器用さに裏づけられた精緻な技術が削り上げる光と影の美しい世界観は、これからも多くの人々を驚嘆させるに違いありません。

雑誌の特集企画として制作した、時計メーカーとのコラボレーション作品。壁掛け時計の内部構造まで紙パーツで再現した。



「手紙」は語る

植村 鞆音

手書きの手紙は、人の個性を表す恰好のメディア。うつくしい文字や文章は、人のこころをうつつ魅力に溢れています。本エッセイは著者が受けとった手紙を通じて、人間の生き方を解きあかします。

第四回 石田禮助と石坂泰三【後編】

石田禮助さんは、若いわたしの取材に気持ちよく応えてくださった。初めて石坂泰三さんに出会ったのが大正五年シアトルに向う船の中だったこと、なんでも引き受ける石坂はまるで鮫鱈、そのおおまかでズボラなところが成功の原因、と。三井物産時代、国内より海外勤務のほうが長かったとかで、会話のはしりには簡単な英語が混じった。収録の日時と場所を確認したときも、「オケイ」と英語の返事が返ってきた。

番組の収録は、昭和四十四年の暮、芝公園の局舎のスタジオで行われた。主役はむろん石坂泰三さんである。サブゲストが、財界のお仲間、石田禮助、普礼之助、矢野二郎の各氏。座談はエスプリの利いたたのしいものだった。天下国家を語っているのに硬くはない。終わって、わたしとアシスタントは、スタジオで出演料と交通費の小切手を出演者たちに手渡した。

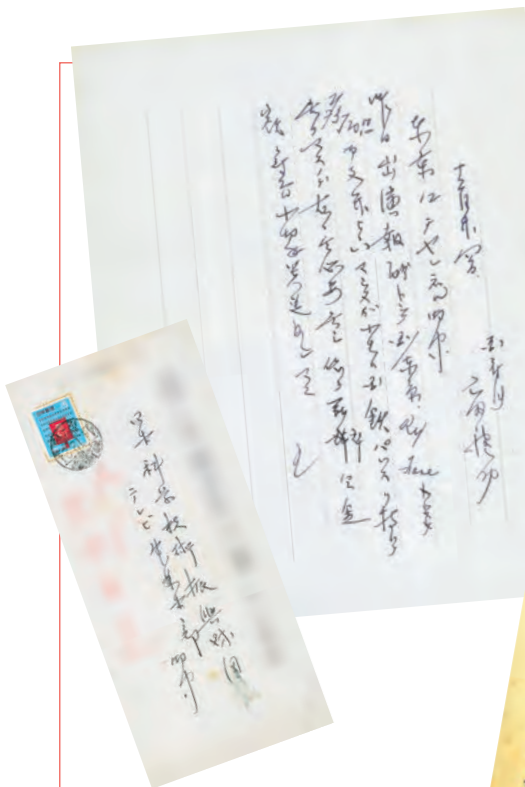
ところが、数日後、会社(当時は科学財団振興財団テレビ本部だった)宛に、石田さんから渡した出演料と交通費のうち交通費分の小切手と手紙が送り返されてきたのである。わたしも愛用している丸善の便箋にけっして上手いとはいえない。直接取材する機会こそなかったが、石田の盟友、石坂泰三もまた、日本の勃興期の生んだ男らしい男のひとりだった。城山は、現代の経営者にはもうほとんど見ることのできない男らしさ、べつの言い方をすればサムライぶりに惚れこんだに違いない。ふたりは、みるからに気骨の経営者だった。信念実現のためには何物にも屈しない経営者が、戦後二、三十年の間、まだこの日本という国に存在していたのだ。

石田は、「黒い霧事件」にゆれる国鉄という巨大組織のなかで臆することなく問題を解決していく。石坂も、昭和二十四年、乞われて労働争議に明け暮れる東芝の社長に就任。労働者と真摯に対峙して東芝再建に成功する。

石田禮助さんより、交通費分の小切手とともに送られてきた手紙。



スナップショットのお礼として、石坂泰三さんからいただいた絵葉書。



昭和45年1月7日に放映されたテレビ番組「人に歴史あり」の収録風景

いしざか たいぞう
石坂 泰三 (写真右から3人目)
実業家 | 1886-1975

東京出身。東京帝国大学卒業後、通信省に入省。その後第一生命社長、東京芝浦電気(現・東芝)社長を経て、第2代経団連会長に就任。4期12年という長期間にわたり会長を務め上げ「財界総理」と呼ばれた。経団連会長を指す「財界総理」という異名は氏に由来する。正三位勲一等。

いしだ れいすけ
石田 禮助 (写真右から2人目)
実業家 | 1886-1978

静岡県松崎町出身。東京高等商業学校(後の一橋大学)を卒業後、三井物産に入社。シアトル、大連、ニューヨーク支店長などを歴任し常務を経て代表取締役社長に。昭和38年には異例の財界出身として第5代国鉄総裁に就任、自らをヤング・ソルジャーと称し国鉄の改革にあたった。

ない金釘流の文字。しかし、中身は軽くはない。自分のもと国鉄総裁なので国鉄のバスをもっている。したがって交通費は無用だというのである。近代日本も勃興期の人たちは偉かった。なによりも金にきれいだ。城山三郎さんに初めてお目にかかった日(平成十年十一月十八日)、「男の生き方 四〇選」(城山三郎編)のテレビ化の打ち合わせを終えたあと、わたしはつい調子に乗り、城山さんに「粗にして野だが卑ではない」に入れて欲しかったと前置きしてこの話を披露した。城山さんは、目を輝かせて「それはいい話ですね」とおっしゃった。そして、このエピソードは、間もなく出版された対談集に、植村さんから聞いたという注釈つきで紹介された。いまにして思うが、このやりとりがなかったらわたしは城山さんにそれほど傾斜しなかったかもしれない。わたしはすべての点で城山さんに及ぶべくもないが、石田禮助のこのエピソードを通して、城山さんとわたしは人間の偉さについてほぼ同程度の共感を持つことができた。わたしにはそれがうれしかった。

石坂は経団連会長時代、経団連ビルを建てるため土地を物色していた。たまたま丸の内に手頃な物件があるというので聞くと、大蔵省の持ち物だという。裏工作の嫌いな石坂はいくどとなく大蔵省に向向いて払い下げの交渉を繰り返すが、もろもろの利権がからんで大蔵省はのりくらりと逃げ回るばかり、「向に結論を出そうとしない。業をにやした石坂がとまのり」の大蔵大臣水田三喜男に雷を落とす。「もう、きみなんかに頼まない」。城山の「もう、きみには、頼まない」のタイトルはこれによっている。

わたしは、「人に歴史あり」という番組のディレクターをやっていたころ、出演者にスタジオでのスナップショットを送ることを常としていた。あまり多くないギャラの意味合いもあった。むろん石坂にも送った。石坂泰三の分の放送は明けた昭和四十五年一月七日だった。一月二十七日付で礼状が届いた。なんといつてもときの財界総理からの直筆である。中村岳陵画「四天王寺金堂大壁画」の絵葉書であった。そこには写真のお礼の言葉とともに、「仰の通り先頃のプログラム割合好評の様にて大分人様から話をされます」と記されていた。石田禮助と石坂泰三。ふたりの手紙は四十五年を経て色こそ褪せたが、いまだにその偉丈夫ぶりを偲ばせるに充分である。



著者略歴

植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映、テレビ東京に勤務。1994年同局常務取締役。1999年(株)テレビ東京制作代表取締役社長。DACグループ顧問。農業生産法人NIKI Hillsファーム相談役。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞。2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に「夏の岬」「気骨の人 城山三郎」など。

冬のイベントに彩りをそえる
シーズナル・ペーパーギフト

クリスマス、お正月が終わっても、冬は楽しいイベントが目白押し。バレンタインやホワイトデーなど、贈りものをする機会もたくさんあります。そこで今回は、もらう人も贈る人も「ほっこり」できるユニークなペーパーギフトをご紹介します。大切な人へのメッセージに、ひと品添えてみませんか？

Winter Paper Gift

1~3月の主な年中行事

1月	1日 (金) 元旦 2日 (土) 書き初め/初夢 11日 (月) 成人の日/鏡開き 15日 (金) 小正月 21日 (木) 大寒
2月	3日 (水) 節分 4日 (木) 立春 11日 (木) 建国記念の日 14日 (日) バレンタインデー
3月	3日 (木) ひな祭り 14日 (月) ホワイトデー 20日 (日) 春分の日

January

例えは...
手帳を新調した「友人」へ。
日々の出来事をキロクする、
ジャンル別の付せん。



1 暮らしのキロク
毎日の暮らしの出来事について、ジャンル別に記録できる手帳用の付せん。テーマにぴったりのデザインなので、誰でも簡単に、かわいく手帳の1ページをつくることができます。手帳以外にもカレンダーやアルバムなど、楽しみ方はいろいろ。全12種類。発売：(株)キングジム <http://www.kingjim.co.jp/>

COFFEE RESTAURANT
BOOK DIET MOVIE SPORTS
SHOPPING HANDMADE SWEETS GIFT

例えは...
いつも「パチッ」に困っている「家族」へ。
貼ってはがせる
静電気除去機能付きステッカー。

2 Wall Story+
ドアノブや鍵穴など、静電気が起こりやすい場所に貼るウォールステッカー。最初にタッチすることで、冬に発生しやすい静電気の「パチッ」を防ぐことができます。ユーモラスなシルエットはお部屋のアクセントとしても、壁紙を傷めにくい弱粘着仕様。全12種類。発売：東洋ケース(株) <http://www.toyo-case.co.jp/>

小鳥 ネコ
考えるおじさん 友情 スリッパ

February

例えは...
ユーモアのわかる「同僚」へ。
インテリアにも最適な紙ふうせん。

3 PAPER BALL
昔懐かしい紙ふうせんがインテリアに。糸をつけて吊るせば、おしゃれなオリジナルのモビールとしても楽しめます。封筒付きなので手紙とチョコをあわせてプレゼントするのもおすすめです。【国旗】[天体]各8種類、[かみばい]3種類。発売：(株)シイング <http://www.kamiplay.jp/>

国旗シリーズ 天体シリーズ かみばい

例えは...
日ごろお世話になっている「上司」へ。
プレゼントを彩るニクイ緩衝材。

4 クッションサン リーブス
リーフをモチーフにしたデザイン性と、緩衝材としての実用性と兼ね備えたエコ&ハイセンスなラッピング資材。季節にあったカラーリングと温かみのある紙の質感がギフトに付加価値を与えます。オーナメントにして飾れば、部屋のアクセントにも。全15色。発売：sanodesign <http://www.cushionsan.com/>

例えは...
想いを伝えたい「あの人」へ。
愛で包み込む、ハートの梱包材。

5 はあとぷち®
梱包材の定番「プチプチ®」。その気泡部分がすべてハート型になった人気商品です。本命の彼へ贈るチョコレートのラッピングに使えば、その思いをさりげなくアピールできること間違いありません。ケースの中敷に使用するのもおすすめです。計8色。発売：川上産業(株) <http://www.putiputi.co.jp/>

*「プチプチ®」「はあとぷち®」は、川上産業株式会社の登録商標です。

March

例えは...
チョコレートくれた「あのコ」へ。
パチ変身が楽しめるフェイスパック。

6 デザインフェイスパック
美肌になるだけでなく、プチ変身を楽しめると話題のユニークなフェイスパック。歌舞伎、アメコミのヒーローからアニメの人気キャラクターまで、お手軽に仮装を楽しむ女性が急増中です。ホワイトデーのお返しにぴったり。3つの美容成分と和エキス配合。全31種。発売：一心堂本舗(株) <http://www.isshin-do.co.jp/>

歌舞伎 友達 動物
KISS マーベル ナイトメア
進撃の巨人 CATS

例えは...
感謝の気持ちを贈りたい「仲間」へ。
デザインが「名乗る」ユニーク封筒。

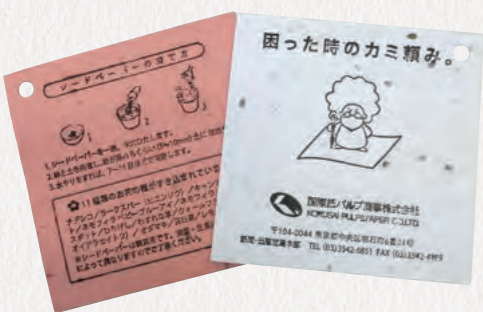
7 苗字封筒
日本に多い苗字をユニークな図案にしてデザインした和紙封筒。紙には富山の「八尾和紙」が使用されており、独特のきめ細やかさや手触りを感じることができます。歓迎会などで活躍しそうな封筒は、全部で40種類。お目当ての苗字、見つかるかな？ 発売：(有)桂樹舎 <http://keijusha.com/>

スキ サトウ
タカハン ハキシ マツモト
サイトウ ヤマモト タナカ

▶ 第5回KPP商品展示会「創紙力、未来へ」を開催

11月9日から11日の3日間、本社1・2階を利用してKPP商品展示会を開催しました。今回で第5回目となる展示会のテーマは「創紙力、未来へ」。「創紙力」とは、成熟市場における紙の役割を見直し、知恵と工夫で未来を切り拓く力を表したものです。この「創紙力」によって、サービス(商品や機能)を提供する総合ソリューション企業としてのKPPグループの「いま」をご覧いただきました。

展示会場には、素材単品ではなくトータルパッケージ・ソリューションを提供する包装資材関連、高速道路の照明など普段は気がつかないところに利用される機能材、産学共同での開発を当社がコーディネートして実用化に至ったトンネル土木工事のソリューション「キュアマイスター」、環境配慮型事業の推進をめざす当社が提案するリサイクルのビジネスモデル「ecom」シリーズなど、紙とその周辺素材を利用した多彩な展示を行いました。3日間の会期中は取引先の方々をはじめ、多数の来場者をお迎えし、盛況のうちに終了いたしました。



再生紙のなかに11種類の種が混ぜ込まれた「シードペーパー」。土に埋めると次々と花を咲かせます。



高速道路の照明「LED灯具」も登場。



トンネル土木工事のソリューションとして取り組む新しい工法「キュアマイスター」について、模型を用いて説明。



素材を組み合わせでご提案する「トータルパッケージ」。



当社が珈琲豆の加工、充填、包装資材の販売から配送までを一貫して行っている「珈琲関連事業」の試飲コーナー。

伊藤航さんの作品「海の上のお城」が大好きなので、今回インタビューさせていただくことができて、とても嬉しく思っています。まだ海はたるパーキングエリアに展示してあったときに何度か拝見しましたが、夢のあるテーマで作られていて、ずっと眺めていたくなる作品です。現在は、いま話題のスポット「ふなばしアンデルセン公園」に展示されているそうですので、みなさんもぜひ足を運んでみてください。(M.T)

今年も多くの方々から末永くご愛読いただけるような誌面づくりをめざしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。(J.S)

「初夢」は……
今年も多くの方々から末永くご愛読いただけるような誌面づくりをめざしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

新年明けましておめでとうございませう。
今号に掲載していますが、昨年は「銀座芋ROCKプロジェクト」に参画し、11月12日に本社屋上菜園に植えてあった、さつま芋を収穫。3月には「銀座芋焼酎」として販売されるのですが、どのような焼酎に仕上がるのか、早く味わってみたいものです。
当社にとって初参加、初の銀座芋焼酎、何事も「初」というのは期待感もあり何かワクワクするものがありますね。さてみなさんの「初夢」は……

編集後記

▶ 「一般財団法人 C.W.ニコル アファンの森財団」のオフィシャルサポーターに

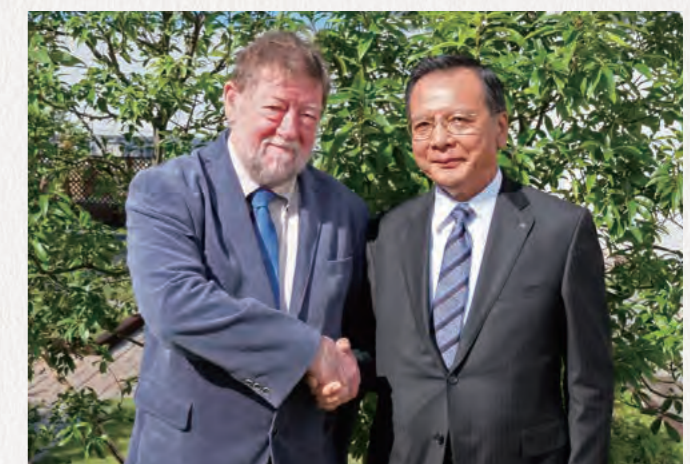
当社はこの度、作家でありナチュラリストとしても知られるC.W.ニコル氏が代表を務める「C.W.ニコル アファンの森財団」のオフィシャルサポーター並びに「震災復興プロジェクト」のサポーターとなりました。「アファンの森」とは、ニコル氏が約30年前に長野県黒姫に購入した里山のこと。同氏は荒れ果てていたこの森を整備し、再び多様な生き物が暮らせる森へと戻す活動に取り組んでいます。2002年に設立された同財団では、健全な森林の保護育成活動のほか、森を通して子どもたちの未来の心、人の心を育む活動を

続けています。国際紙パルプ商社は「紙」を扱う商社としてこの活動に賛同し、支援を行ってまいります。

また同財団が宮城県東松島市で進めている「震災復興プロジェクト」への支援を実施します。このプロジェクトは、東日本大震災で津波被害に遭った地区の復興を目的として、森づくりや子どもたちの心のケア、さらには市役所、教育委員会との協力によって森の中に新学校設立をめざすというものです。当社は、子どもたちが森を活用して自然とふれあい、「紙」について学べる体験を推進してまいります。



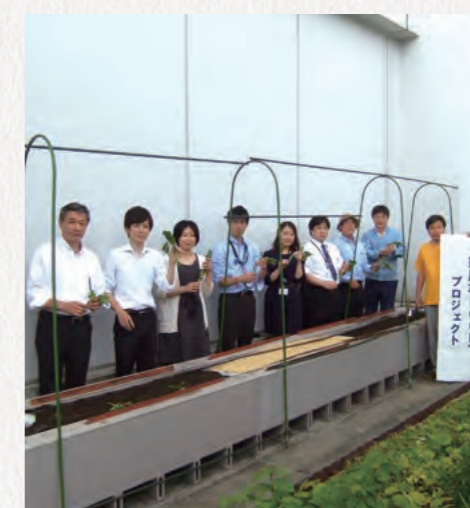
長野県黒姫にある「アファンの森」の入り口。



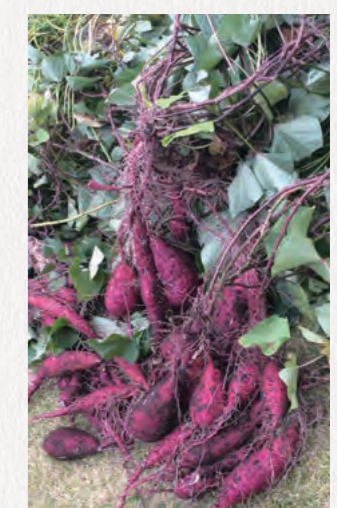
C.W.ニコル氏(左)と当社社長。(KPP本社屋上にて)

▶ 「銀座芋ROCKプロジェクト」に参画

NPO法人「銀座ミツバチプロジェクト」は2006年、東京・銀座にある紙パルプ会館の屋上を活用して養蜂をスタート。採取したハチミツをスイーツやカクテルなどの商品として販売することで、地域活性化に貢献しています。ハチミツと同様に、新潟の茶豆や福島の菜の花など地方特産品を銀座界隈のビルの屋上で栽培、収穫祭を開催するなどして、都市と地方をつなぐさまざまなプロジェクトを行っています。2015年には銀座屋上の緑化プロジェクトの一環として、「銀座芋ROCKプロジェクト」も始動。これは銀座で収穫したさつま芋を福岡県豊前市の蔵元へ送り、芋焼酎を製造してもらうという企画です。当社も2010年に緑化した本社ビル屋上の菜園スペースを提供し、さつま芋の栽培にご協力しました。



【6月】銀座ミツバチプロジェクトのみなさんと苗植えを実施。



【11月】プロジェクト全体で約50kg、当社屋上では約7kgのさつま芋が収穫された。

1/19(火)

EVENT

ラゾーナ寄席 第44回新春寄席(林家二楽出演)

毎月第3火曜日に開催されている「ラゾーナ寄席」。初笑いを誘う新春寄席には、寄席の客から受けたお題を、はさみと紙だけで即興で形にしてみせる「紙切り」の林家二楽さんが出演予定。新年の門出に粋な話術と見事な手技をお楽しみください。



DATA

- 会場:ラゾーナ川崎プラザソル(神奈川県川崎市幸区堀川町72-1ラゾーナ川崎プラザ5F)
- チケット:2,000円(全席自由)
- 出演:初音家左橋・桂米多朗・林家二楽(紙切り)・三遊亭ふう丈
- 問い合わせ:ラゾーナ川崎プラザソル
- TEL:044-874-8501
- HP:<http://www.plazasol.jp/yose>

1/17(日)

EVENT

第51回本荘凧あげ大会

凧愛好者が一堂に会し力作を競い合う、昭和41年から続く由利本荘市冬の風物詩。個性豊かな凧が青空を舞い、訪れた人の目を楽しませてくれます。

DATA

- 会場:友水公園アクアパル前河川敷(秋田県由利本荘市北裏地)
- 参加費:無料
- 問い合わせ:本荘凧の会(カタムラ看板内)
- TEL:0184-22-8037
- HP:<http://www.yurihonjo-kanko.jp>

1/27(水)~29(金)

EXHIBITION

コンバーティングテクノロジー総合展 2016

機能性マテリアル、コンバーティング技術・装置、プリントドエレクトロニクス技術、表面加飾技術の最先端を紹介する総合展。3展が同時開催。

DATA

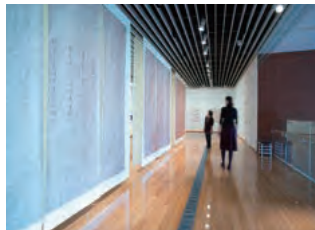
- 会場:東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)東ホール&会議棟
- 入場料:3,000円(ただし事前登録で無料)
- 問い合わせ:(株)加工技術研究会
- TEL:03-3861-3858
- HP:<http://convertingtechnologyexpo.com>

~3/6(日)

EXHIBITION

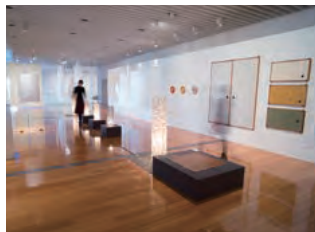
ペーパー?ペーパー! -世界は紙にも還元できる-

詩人・評論家として活躍する大岡信氏の詩「世界は紙にも還元できる」に沿って、日本古来の和紙をメインに、紙の魅力に迫る展覧会。和紙づくりの工程のほか、多種多様な和紙、暮らしにおける和紙の活用例など、多角的な視点から紙の可能性を探ります。



DATA

- 会場:大岡信ことば館(静岡県三島市文教町1-9-11 Z会文教町ビル1,2F)
- 入館料:大人1,000円/大学生700円/小中高生500円
- 問い合わせ:大岡信ことば館
- TEL:055-976-9160
- HP:<https://kotobakan.jp>



2/3(水)~5(金)

EXHIBITION

第81回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2016

約2,400社のブースが軒を連ねる、日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市。最新トレンドを求める流通バイヤーが例年約20万人来場する。

DATA

- 会場:東京ビッグサイト(東京都江東区有明3-11-1)全館
- 入場料:無料(ただし事前登録が必要)
- 問い合わせ:(株)ビジネスガイド社 インターナショナル・ギフト・ショー事務局
- TEL:03-3843-9854
- HP:<http://www.giftshow.co.jp/tigs/81tigs>

3/17(木)・18(金)

EVENT

バックヤードツアー「保存と修理の現場へ行こう」

東京国立博物館の裏側を覗けるバックヤードツアー。文化財の保存と修理についての解説および書画や刀剣の修理室等、大型CTスキャナーなどの設備を見学できます。※要事前申し込み

DATA

- 会場:東京国立博物館(東京都台東区上野公園13-9)
- 参加費:無料(ただし、当日の入館料が必要)
- 問い合わせ:東京国立博物館
- TEL:03-5777-8600
- HP:<http://www.tnm.jp>

※開館日、開館時間等は、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。お出かけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライシンキを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行:経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>

作る

紙と触れ合い、モノを作る

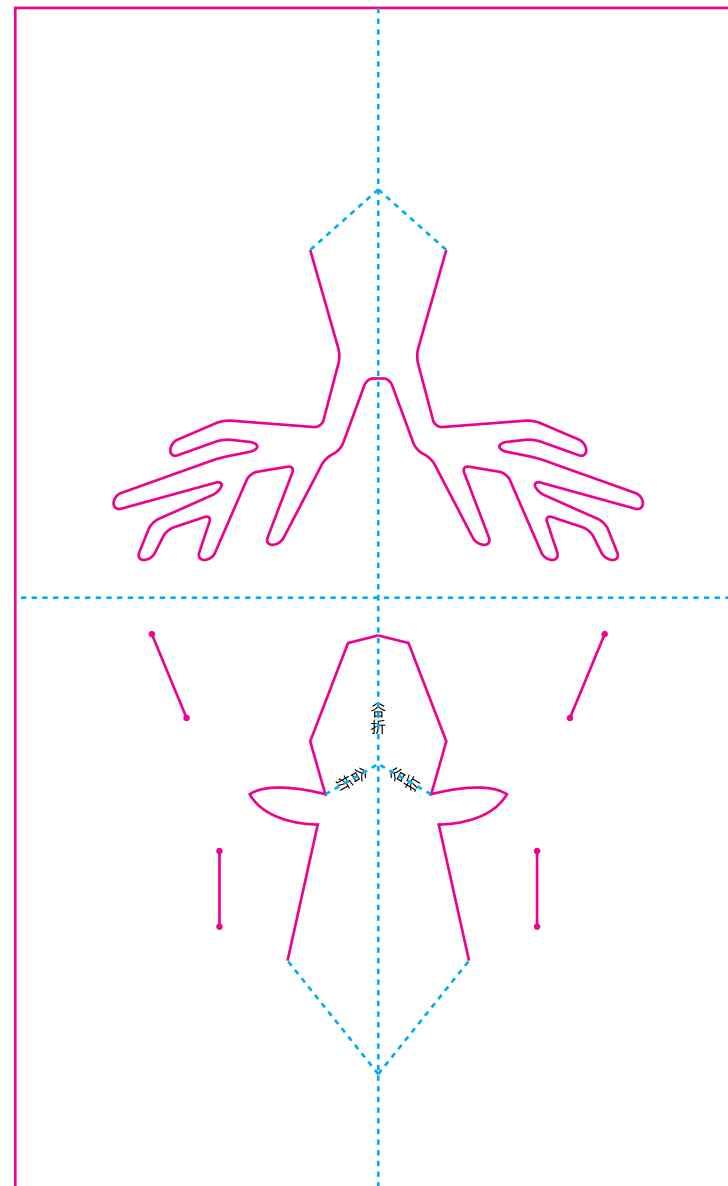
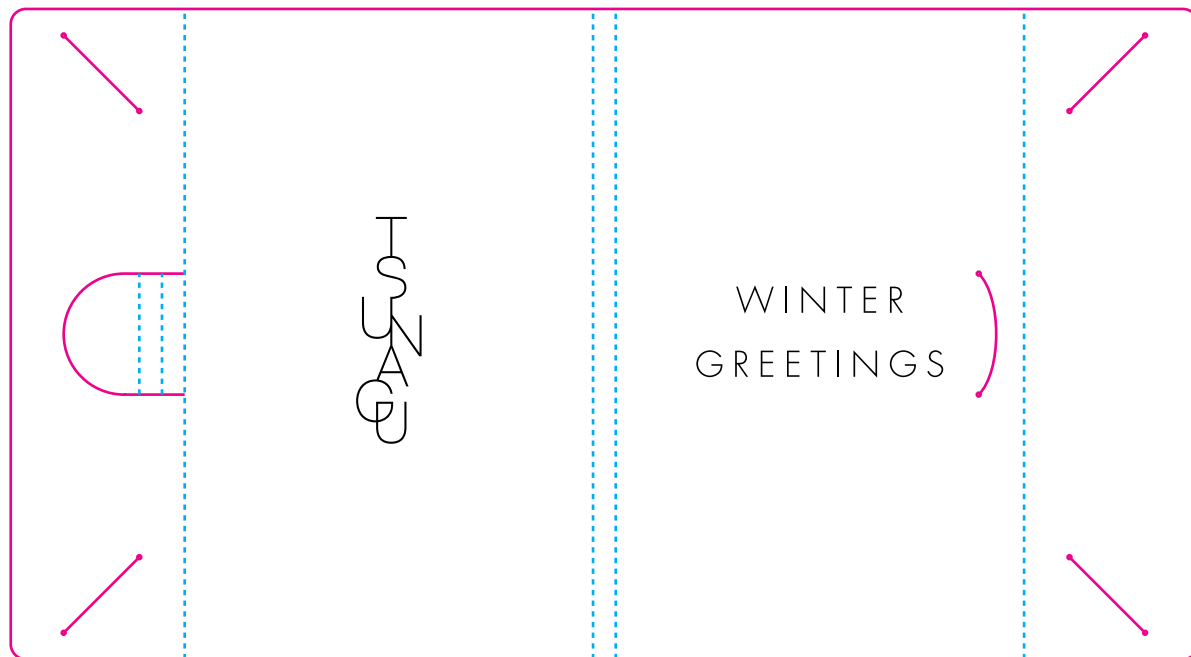
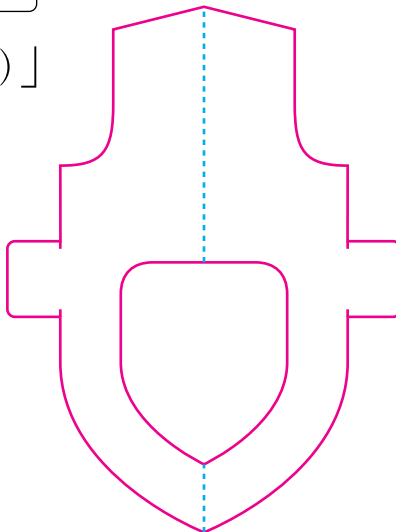
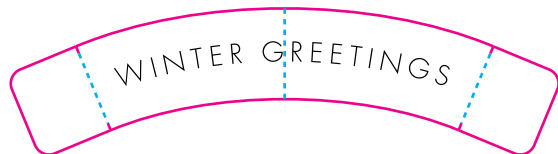
「PAPERCRAFT on the DESK」

ウォールアートとしても活躍

TSUNAGUオリジナル

「冬のグリーティング・カード(ハンティング・トロフィー)」

形式的になりがちな年賀状よりも温かいコミュニケーションがとれるものとして、その人気が高まりつつある「冬のグリーティング・カード」。一般的な文化として根づいている欧米では、このカードをテーブルや本棚、暖炉の上やオフィスのデスクなどにしばらく飾って楽しむ習慣があります。今号ではインテリアとしても注目されている、ハンティング・トロフィー(鹿の壁掛け)をモチーフにしたポップアップカードをご用意。相手の喜ぶ顔を想像しながらつくってみてくださいね。

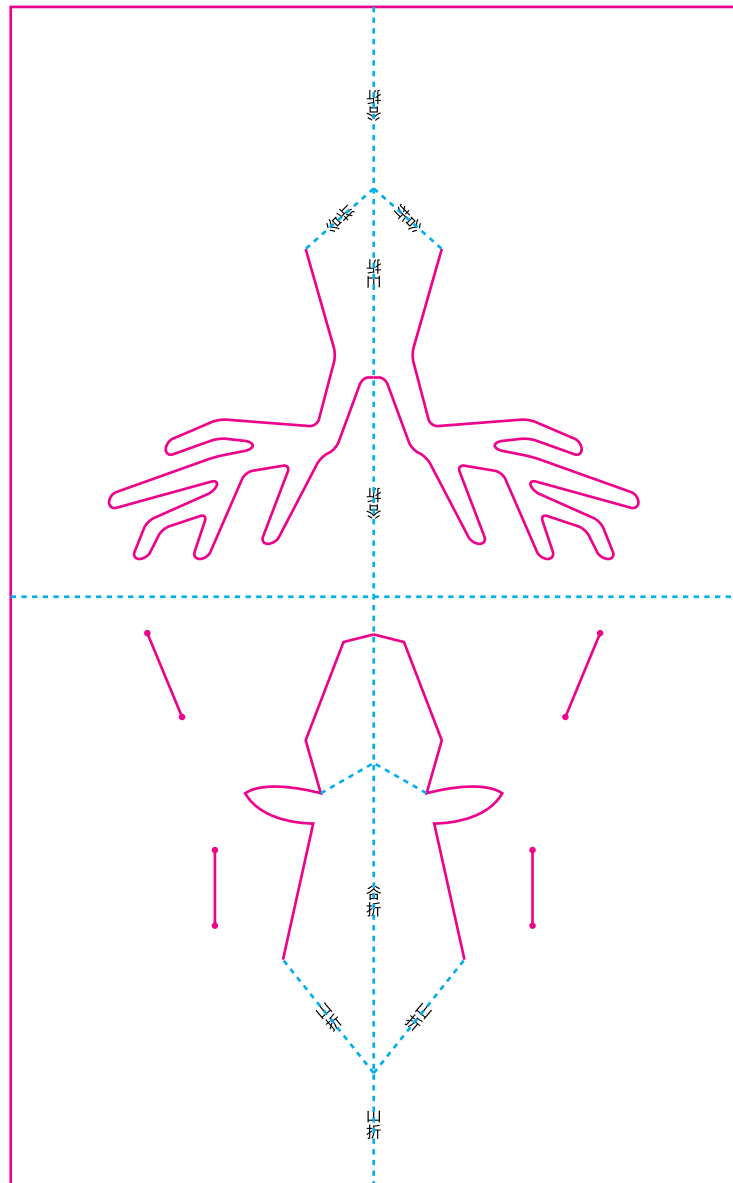


つくり方はウラ面をご参照ください。▶

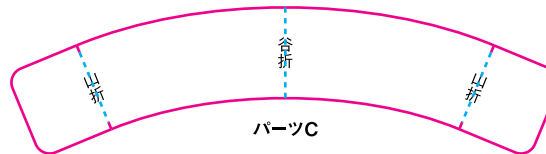
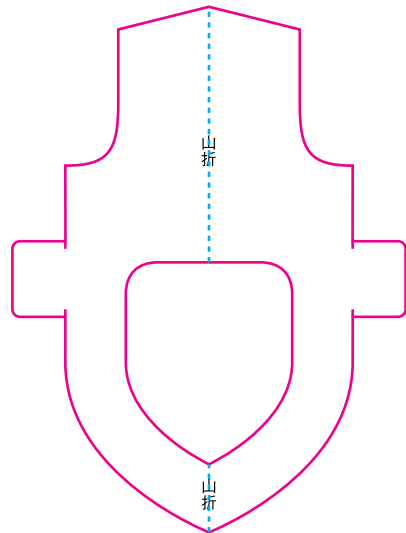
「作る」vol.26使用紙：HSハミング(140g/m²/北越紀州製紙株式会社)

目に優しい白色感の微塗エマット紙。高い不透明度とシャープな印刷効果をあわせ持っています。

パーツA



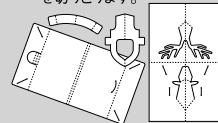
パーツB



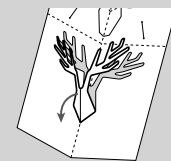
ウラ面

作り方

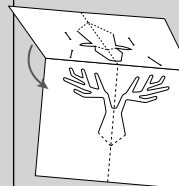
1 抜き型に沿って4つのパーツを切りとります。



2 パーツAにある鹿の角部分がしっかりと持ち上がるように折ります。



3 一度、元どおりに広げ直し、図のように折ります。

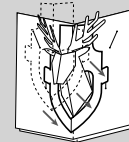


図を参考に、頭部と首部分を持ち上げて折り、空いた穴から角部分を引き出します。



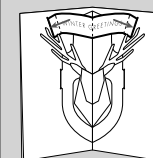
※頭部は図のように折り返します。

4 パーツAが完成したらパーツBを谷折の状態にし、中心の穴から角部分、頭部の順に通していきます。



※通し終わったら、左右の差し込みを図のようにはめ込みます。

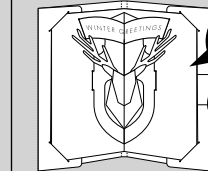
5 パーツCを、文字を表にして差し込みます。



6 図を参考に、パーツDを内側に折ります。



7 パーツDを開いたら、パーツA～Cを四隅の角に差し込みます。



完成!

パーツD

